

ブランド力の高い園芸産地の確立を目指して 令和6年度庄内園芸振興技術研修会（春季）の開催

本研修会は、庄内総合支庁産業経済部農業技術普及課産地研究室において取り組んでいる生産技術等の開発動向や技術改善に関する情報を紹介し、庄内地域の生産者や農業関係団体、行政機関等とともに検討し、開発技術等が生産現場においてスムーズに活用を図られることを目的に開催しますので、当日の取材についてお願いします。

【事業概要】

1 日 時

令和7年3月12日（水）午後1時30分から4時まで

2 場 所

庄内総合支庁農業技術普及課産地研究室大会議室（酒田市浜中字八窪1）

3 内 容

産地研究室の研究員による6件の研究発表

（1）技術研修

【果樹関係】

- ①収穫前豪雨がニホンナシ「幸水」に及ぼす影響
- ②育苗ハウスを活用したシャインマスカット栽培の高品質生産のポイント

【花き関係】

- ③アルストロメリアの砂丘地における追肥量の目安

【野菜関係】

- ④ハウス早熟メロン「アンデス」の5果どり栽培における整枝法と摘果
- ⑤イチゴ新品種「山形S7号」の高設ベンチ栽培における養液管理が生育・収量に及ぼす影響
- ⑥庄内砂丘地域におけるハウスアスパラガスの早期成園化技術

（2）講演

演 題 「庄内地域の園芸振興への期待」（仮）
講 師 山形県農業総合研究センター所長（予定）

4 主 催

砂丘地農業試験場協力会※（事務局：庄内総合支庁産業経済部農業技術普及課産地研究室）

※全農山形県本部、JA 鶴岡、JA 庄内みどり、JA そでうら、JA 庄内たがわ、JA あまるめ、
（株）松ヶ岡農場、山形県農業協同組合中央会、NOSA I 山形庄内支所、
管内関係市町（二市三町）で構成

5 参集者

庄内地域農業者、農業関係団体、行政機関等 約40名



担当：庄内産地研究室
開発研究専門員 渡部 由理
電話：0234-91-1250